

# 平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成17年12月22日

No.1546

## 超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
第2690地区ガバナー 延 原 正

△事務局▽

島根県出雲市平田町2280-1  
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232  
FAX 0853-63-5365  
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会 長 大谷 孝 副会長 加藤喜久  
幹 事 内田節夫 会 計 加藤 昇

## 例会プログラム

| 例 会    | 卓 話 者   | 演 題      |
|--------|---------|----------|
| 第1546回 | 会長 大谷 孝 | 年次総会について |
| 第1547回 | 議長 大谷 孝 | 年次総会     |
| 第1548回 | 18:30~  | 夜の例会     |

## 出席報告

| 会 員 数 | 出 席 者 数 | 欠 席 者 数 | 出 席 率 | 前 回 補 正 率 |
|-------|---------|---------|-------|-----------|
| 50    | 37      | 13(4)   | 80.43 | 88.00     |

欠 席 者 金田・田中浩・吾郷・牧野・石橋・高砂・園・三代・堀江(石倉・曾田・森山・石原)M  
U 12/15名原(松江東)・12/21平野・名原(松江)・大谷・田中浩(RAC)

## 幹事報告

1. 休会
  - 出雲南RC 12/30(金)・1/6(金) 定款により ビジター受付なし
2. 例会変更
  - 出雲南RC 1/13(金) 新春家族会 ビジター受付 11:30~12:30 事務局
3. 会費の引落し 1/6 48,000円(1.2.3月分)

## 理事会決定事項

- 平田青少年新春コンサートの後援依頼があり承認致しました。(チケット購入 1人 1,500円)  
日時 1/15(日) 14:00~ 於)プラタナスホール

## 委員会報告

<社会奉仕> 歳末たすけあい募金「万田の郷」「るんびにい苑」へ寄付致します。  
<プログラム> 1月第1例会は昼の例会と致します。

1月19日例会受付当番

持 田 稔 樹 ・ 園

裕 ・ 曾 田 八 郎

★松江南クラブ(月)  
★出雲中央クラブ(月) 12/26  
★松江しんじ湖(火)

★出雲クラブ(火) 1/3(休)  
★松江クラブ(水) 1/4(休)  
★大社クラブ(水)

★平田RAC(第1・3水)  
★松江東クラブ(木)  
★出雲南クラブ(金) 12/30・1/6(休)・1/13

## 会長挨拶

今日は本年最後の例会となりました。本年一年を振り返りますと、前半は横野会長年度で、まず今年の初の夜間例会は1500回記念例会でした。1974年5月、23名で発足した平田RCは31年目にして達した記念すべき例会でした。

また、原ガバナ一年度であり、3月20日にはホテル一畑で盛大なIMがあり、多数が参加しました。

4月には木佐会員、三代会員、6月には持田会員の入会がありました。また、各委員会とも各々の事業計画を立派に達せられその年度をしめくぐられました。敬意を表します。

さて、7月からは不肖私が会長を務めさせていただきました。この間にあっての大きな行事は、3年がかりで取り組んで参りましたマッチンググラウンド、モンゴルの子供に坪田愛華ちゃんの「地球の秘密」の本1万冊、合わせて1万ドルの環境基金を持参したことです。西尾市長をはじめ一般市民の参加もあり、59名の訪問団でした。

また、これに関して駐日モンゴル臨時大使の当クラブへの訪問を受けました。

家族合同例会は、納涼会をゆり館で、忘年会をホテルほり江で行ったほか、9月には一畑寺での座禅、12月には能楽師種田道一先生の一般公開事業としての講演もありました。沢山の人の卓話を拝聴しました。私は中でも木佐邦夫さんの感極まって涙を流してのスピーチが印象に残っています。

また、黒田、西谷会員には一時健康をそこなわれましたが早々と元気に復帰されましたこと、一同うれしかざりてありました。

この様に皆様のお陰で全てが順調に推移いたしましたこと感謝申し上げます。ただ残念なのは私の不徳のいたすところ、最後に人事案件が出来なかったことお許し下さい。

今年を表す文字は「愛」だそうです。去年は「災」であり、近年は暗いイメージの文字が続きましたが、今年は明るく「愛」です。これが転換期となればと念じております。

この一年、皆様には公私ともに大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

それではこの一年のお互いの無事に感謝し、来年の平田RCにとって、また、会員皆様、ご家族皆様にとってよりよい年であることを祈って、年末の挨拶といたします。

## 年次総会について

今日は年次総会で次年度の役員人事を決定することになっていましたが、先ほどの理事会で本日は延期することに決定しました。

理由は次年度の副会長、即ち次々年度の会長が定まらなかったことです。以下、その経緯と理由についてお話しし、ご理解を得たいと思います。

11月末日までに次期役員（副会長、副幹事、会計）及び4名の理事の立候補、推薦はなく、現理事をもって指名委員会とし選挙にあたりました。

- (1)私と加藤副会長、内田幹事を中心に協議し、候補者を選んだ時には会員の応援を得ながらその人と私達なりに精一杯のお話し合いをさせて頂きました。
- (2)当然のことながら人事に関することであり、交渉経過、内容についてはご容赦願います。

その話し合いの中で

- (1)当然のことながら、ご家族のご理解、ご協力が必要であり、時には一緒に幾度も話し合ったこともありました。
- (2)辞退の理由がやむにやまれぬ理由であることも理解出来るようになりました。
- (3)無理にそれを更におせば、これまでの人間関係、友情が崩れると感じました。
- (4)たらい廻しは出来ません。
- (5)これほどまでに人事案件がむずかしくなると、その責任を負う会長はそのことが大きな負担となり、会長になり手がなくなると感じました。
- (6)12月22日の時限がありました。

毎年、人事には多少のむずかしさは承知していますが、たまたま今回に限りやむをえぬ事情もそれぞれありました。

不徳のいたす処、不本意ではありますが、今日の総会に人事案件を計ることが出来ませんでしたのをお許し下さい。これだけご理解下さい。

- (1)RCは事業会社でもなければ、営利団体ではありません。みんなの奉仕の力によって成り立っています。それぞれに都合をいえばきりがありません。当然にそれをふまえてのお話し合いでしたこと。
- (2)また、私達の人選に誤り、頼み方が少ないのではないか、その様なご批判があれば、不徳のいたす処、甘んじて受けませんが、少なくとも要請を受けられた人もその家族も私達も真剣に話し合いました。大変心痛をおかけしたことはご承知下さい。

今しばらく私に時間を下さい。もとに立ち返り、新しい発想、視点で年末年始にかけて考えたいと思います。平田RCはじまって以来のことですから、それだけにきっちりした人事案件を来年早々に皆様にお示じしたいと思っております。皆様の格別のご理解ご協力をお願いします。